

食といのちと社会奉仕

食とは、人を良くするといわれていますが、現代の多くの人々は「食」をないがしろにして生活しています。人の食する食べ物は、多くは生き物からいただいています。そして人の「いのち」はこの食に賄われ、人はその「いのち」を精一杯使って、地域、国で職業奉仕、社会奉仕を行っています。この講座では、若い人を対象に、異種の職業分野の奉仕グループであるロータリークラブの会員が、それぞれの専門分野から見た「食といのちと社会奉仕」について講義します。

- 日 時：平成 24 年 6 月 19 日・6 月 26 日・7 月 3 日・7 月 10 日
毎回火曜日 18:20～19:50（全 4 回）

- 会 場：県立広島大学 広島キャンパス

- 内 容：

回	日程	テーマ	講 師
1	6 月 19 日	食に重要な人体の成り立ち	人間文化学部教授 嶋本 文雄
2	6 月 26 日	社会奉仕	弁護士法人あすか 福田 浩
3	7 月 3 日	食・生・いのちー共生の社会をめざして	広島女学院理事長 黒瀬 真一郎
4	7 月 10 日	植物からいただく力、ファイトケミカル	人間文化学部教授 嶋本 文雄

- 受 講 料：無料

- 募集人数：30 名

- 対 象：高校生・大学生・大学院生

- 申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤学年、⑥電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 24 年 6 月 4 日（月）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- 申込・問合せ先：

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「食といのち講座」係

電話 0 8 2 - 2 5 1 - 9 5 3 4（平日 9:00-18:00）

- 主 催：県立広島大学地域連携センター

6月19日

食に重要な人体の成り立ち

嶋本 文雄

正しい食生活をするには、食物がどのように消化、吸収されていくかを理解することが重要です。そのような生理的なはたらきは、多くの細胞、組織が協力して成し遂げられ、それは社会の機構が多くの人々の奉仕に依存して成り立っているのに似ています。人体では、その破綻が人の病気を生み出します。その人体の成り立ちについて、講義します。

6月26日

社会奉仕

福田 浩

「社会奉仕ってなんだろう。」「社会奉仕は大切だけど、何をすればよいのだろう。」などと、疑問を持たれる方も多いのではないかと思います。ビジネスエシックス（企業倫理）の考え方を踏まえつつ、セールスマン、海外留学、弁護士、ロータリークラブなど多様な社会人経験の中で、社会奉仕や職業奉仕について、見聞きしてきたこと、悩んできたこと、考えてきたこと、実践してきたことなどを、お話しさせていただくとともに、「社会奉仕」に焦点を当てて、皆さんと一緒に考えてゆければと考えています。

7月3日

食・生・いのちー共生の社会をめざして

黒瀬 真一郎

2011年3月11日から1年余、「国際・平和・文化都市広島」に生きるヒロシマ市民としてのミッション（使命）を明らかにするために、「食と生命（いのち）と社会奉仕」について学びます。今では観光化した花田植え（壬生）は、かつて、どの田園地帯でも見られた集落ごとの協働作業（ボランティア）でした。機械化の発展と比例して、地域社会や家庭も、集団より個やスピードが重視され、人間関係がますます希薄になり、便利さと引き換えに‘待つ喜び・旬’が失われてきました。食（農業）と環境問題の変遷なども振り返りながら‘いのち’を考えてみましょう。

7月10日

植物からいただく力、ファイトケミカル

嶋本 文雄

植物が、過酷な環境の中で生きていく時に使っている力、ファイトケミカルは、人の「いのち」にも大変貢献してくれます。食物は人と共通しているところが沢山あります。すなわち生き物で、地球上と一緒に生活し、地球の環境に影響されて生きています。食物が持つこの不思議な力について、講義します。